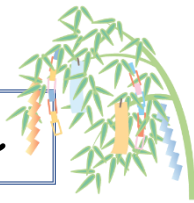
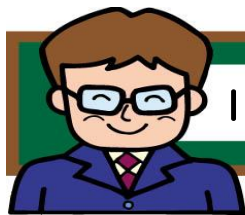


日野中央だより～7月号～



7月も半ばです。生徒のみなさんのマスクの下は汗..手洗いをし過ぎた手が..等々、いろいろな状況もありますが、その都度一つひとつどうしたら良いのか一緒に考えながら、生徒のみなさんも教職員も、手洗い、マスク、ソーシャルディスタンスに注意を払った日々を過ごしています。

今月は、部活動が始まり、1年生が見学をして入部をする様子が見られました。2・3年生は、1年生の質問に答えたり、教えたりする姿がありました。今月号では、学校再開後1月余りが過ぎ、緊張もほぐれ、仲間と打ち解け始めた1年生の今の姿を1年生学年主任よりお伝えします。



1年生(42期生)の様子

再登校が始まり入学式での緊張した表情も和らぎ、生徒たちの笑顔と元気な声が1年生の各教室から廊下へと広まりつつあります。

一斉登下校になってからは、『国語、社会、数学、理科、職業、自立活動』に加えて【音楽、美術、家庭科、情報、英語、作業】の学習も始まりました。これまでは、2クラス合同やクラスを離れてグループで学習をしている授業も、夏休み明けまではクラス単位で学習を進める予定です。体育はこれまで4クラス合同でしたが、2クラス合同で授業を行っています。マスクを外すのは、登校時の手洗い、ウガイ、お弁当、体育、水分補給時..友だちの素顔の全てを目にする機会は少ないのですが、マスク越しの対話の中でも友だち同士の親睦は着々と深まっています。

1年生は、現在昇降口の密を避けるため、B棟玄関を使用しています。昇降口で顔を合わせることはあるけれど、まだ他のクラスの友だちの名前は分からないという生徒も多いようです。最近では、作業の学習や部活動等でクラスを超えた関わりも始まりました。特に部活動を楽しみにしている生徒は多く、先日の部活動見学日には、ほとんどの生徒が見学をしていました。自分がどんなことがしたいのか見学を通してじっくり考えたり、友だちと一緒に見学をする中で一緒に部活に入ろうと相談したりする姿が見られる等、クラスを超えた友だちとの関わりがぐっと広がってきています。1年生はジャージや上履きのラインの色が緑色の通称「緑学年」ですが、明るく元気で優しい印象の学年と感じています。みどりの木々のように、ゆっくりと大きくたくましく...優しく育ってほしいと願っています。